

鳳凰 (大野恵造)

瑞祥の鳥 鳳凰は

理想の世界に 棲む

朱夏 到るのとき 白桐は 花 咲きて

即ち 紫雲を 生む

鳳は 雄なり 凰は 雌なり

睡みて 常に 連れ 舞う

これに 和して 妙音を 発するは

七絃の 虹 かかりたる 梧桐の 琴

日月の 徳を 讃うる 笙笛 箏篋

五彩の 翅 貴に 耀う

この鳥 現世に 翔り くるは

聖賢 生るるの 日なりとや

桐は いま 三鈴の 花冠をば 戴きて

陽光の 裡に 在り

解説 伝説の鳥、鳳凰を詠った詩。

語釈 ※鳳凰 中国神話の伝説の鳥、靈鳥である。中国最古の類語辞典「爾雅」によれば、頭は鶏、額は燕、頸は蛇、背は亀、尾は魚で、色は黒・白・赤・青・黄の五色で、高さは六尺程とされる。※瑞祥 めでたいことが起こるといふ前兆。吉兆。※朱夏 中国において、赤色を夏に配するところから夏の異称。※白桐 植物。アオギリ科の落葉高木。※紫雲 むらさき色の雲。めでたいしるしとされ、念仏行者の臨終などにあたつて、阿彌陀仏がこの雲に乗つて来迎するといふ。※睦む 仲よくする。むつまじくする。※妙音 非常に美しい音声。また、美しい音楽。※七絃の虹 七色の虹。※梧桐 植物。アオギリの漢名。※日月徳 阿彌陀仏の徳を讃える言葉に「超日月光」がある。「日光」とは、人間の生き様を太陽と月の光をたとえて表現したもの。※笙笛 雅楽で使用する笛の笙。※箏篋 琵琶の三種と同じように堅箏篋は西アジアに源を發し漢代に中国に入った豎形ハープ。※五彩 青・黄・赤・白・黒の五つの色。※翅 鳥類のものに対しては羽。あるいは翼。※貴て 身分や位、家柄などが高い意を表わす。※現世 現在の世の中。※聖賢 聖人と賢人。また、知徳の最もすぐれた人。※桐 古代中国で「鳳凰が棲む」といふ謂れのある桐とは、アオギリである。※三鈴の花冠 和名・鈴香じゆは、花冠が鈴のような形で中国産の葉草コウジュの類であるという意味だそうです。

通釈 めでたいことが起こると言われる鳥・鳳凰は理想の世界に棲むと言われている。その世界は夏になると白桐に花が咲き、めでたい雲が生じると言われている。鳳は雄で凰は雌である。鳳凰は仲が良く常に一緒に行動する。これに應えて美しい音楽を奏でるのは七絃の虹を施してある梧桐の琴。そして、日月光を讃える笙笛、箏篋。鳳凰の五彩の翼は高貴な輝きを放つのだ。この鳥が現世に現れると聖賢が生まれると云う。鳳凰が唯一留まる言われる桐の木は三鈴の花冠を戴いて輝く太陽の裡にある。